



# 30年度総会を開催

平成30年5月24日、潮目交流館において平成30年度小名浜まちづくり市民会議の定期総会が、ご来賓と多くの会員の参加のもと開催されました。冒頭、佐藤会長のまちづくりに向けた熱い想いが紹介され、総会の次第に沿い前年度の事業報告や収支決算、今期の事業計画と収支予算が審議され提案内容で議決されました。

総会終了後には会員の懇親会を開催。和やかな雰囲気のもと、新しい年度に向けたそれぞれの想いが語り合われていました。



発行所  
小名浜まちづくり  
市民会議  
TEL: 52-1275  
FAX: 52-1415  
発行日  
平成30年6月20日

## 自立、そして真の創世へ

『ほっとポート・小名浜』運動の実践



小名浜まちづくり市民会議 会長 佐藤 毅

いわき市では、5月に第8回太平洋・島サミット、11月に第10回世界水族館会議が開催され多くの海外からのお客様をこの「小名浜」の地にお迎えします。東日本大震災より7年が経過し、まさに復旧から復興へ

と舵を切った「新しい小名浜」をお見せすることになります。「小名浜」の少しでも良い印象を母国に持ち帰って欲しいと願っています。

平成28年春に「まち開き」として装いを新たにすることを構想から遅れること2年数ヶ月。この6月にイオンモール小名浜が開業します。モールの竣工はもとより、鹿島街道、港湾道路、ペDESTリアンデッキ、高速バスターミナル、港湾地区駐車場などの周辺エリアの整備もされました。

いよいよ年間800万人の来場者が「イオンモール小名浜」に押し寄せて来ます。この来訪者数をビジネスとまちづくりへのチャンスとして捉え、昨年、まちづくり会社として「株式会社まちなもりシオカゼ」が誕生し、汐風竹町通りの空き家物件のリノベーションからその事業がスタートしました。

いわきFCの快進撃は、昨年の「コンサドーレ札幌撃破！」に代表されるように、市民に大きな感動を与えてくれました。「スポーツでいわきを東北一の都市にする」といういわきFC

のスローガンには力強さがあると思います。私も小名浜を東北一の港町にしたいという想いがあります。その導火線として、いわきFCのスタジアム（二年365日、何か必ずイベント・催事が行われているスタジアム）誘致を実現させたいと思います。この実現は、いわき市を、小名浜を、東北一の都市に導く一助になります。まちを上げて誘致運動を盛り上げていきましょう。

小名浜の地場産業の漁業は、試験操業の対象魚種が減少したものの、その漁獲量は震災前と比較して約8%とまだまだ低水準です。漁業に関する環境が改善され魚市場に活気が戻るよう市民会議としましても働きかけていきたいと思っています。

持続可能な「まち」とは、経済活動が継続発展する「まち」だと思っています。人口が増え、経済が発展し、所得が増え、インフラへ再投資が行われる。商業集積を図ることも大事であり、少子高齢化社会の進行を見据えた新たな生活環境づくりを行い、定住人口の増加や交流人口の増加、新たな商業の形成と公共交通の利便性の向上、公共施設の効率化を進めながらコンパクトで快適なまちの暮らしを実現することが大切です。

### 市民会議 女性の会 発足

小名浜まちづくり市民会議では、新たに「市民会議 女性の会(仮)」を立ち上げます。「小名浜に住む」をテーマに、女性ならではの視点で楽しくお話ししませんか？ 年齢不問。50代以上の方、大歓迎。日中、まちステヤシオカゼに集まって、なくなってしまうリスポのこと、新しくできるイオンモールのこと、その他色々なことを女性が集まっておしゃべりする場を作りたいと考えています。女性の会の活動に興味がありましたら、必ずしも市民会議の会員でなくても構いません。参加をお考えの方は、市民会議事務局（TEL 52-1275）までお問い合わせください。

今年度は「まちづくりの整備テーマ」である、「ほっとポート・小名浜」運動を基本コンセプトに事業展開をして参ります。雑多な面白さとエネルギーにあふれ、人情味があり、懐かしい雰囲気に心癒される。熱くて（HOT）エキサイティングかつ癒し、味わい豊かな港町文化を堪能できる「まち」。持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えています。

人、情報、文化が集まるまち小名浜。ヒト・モノ・カネ・情報の集積地は、やがて発信地に変わります。受け身ばかりではなく、攻める気持ちで前に進めば、やがて、ほっとする場所を得る事が出来るという思いで活動して参ります。

平成32年度で復興・創生



期間が終了します。残された時間の中で、小名浜の新たな転換期を「吉」とすべく、常設の4つの委員会活動を中心に、会員一同一致団結して活動していく所存です。今後とも、小名浜まちづくり市民会議に暖かいご声援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 変わりゆく小名浜

## 「まちもりシオカゼ」

16

5月19日、株式会社まちもりシオカゼが空き店舗をリノベーションし、人の交流を目指して喫茶スペースなどを新設した建物「シオカゼ」のオープニングセレモニーが開催されました。

昨年10月11日に代表取締役の馬上信弘氏によりまちづくりを志向する会社として株式会社まちもりシオカゼが設立されました。まちを守り、まちを盛り上げていくことを理念とし、その第一歩のリノベーション案件として改装されたのが「シオカゼ」になります。

当日は朝まで雨が降り、セレモニーの時間には一気に晴れ渡り、無事にオープニングセレモニーが執り行われました。また「シオカゼ」のオープンを記念して、「ホノホノオナハマ」というイベントも開催されました。ホノホノとはハワイ語で「ゆったり散歩する」という意味があり、汐風竹町通りをゆったり散歩してもらいたいという想いが込められたイベントになりました。今後「シオカゼ」を中心に、汐風竹町通りの徒歩圏エリアの価値を

向上させ、回遊人口を増やしていくことに期待がかけられます。



## 小名浜まちづくり市民会議 委員長・活動内容の紹介

### まちなか潮目委員会



上野 祐一

- 小名浜市街地の活性化に寄与する活動・イベント企画の検討、開催
- アクアマリンパークを中心とする賑わいの再生と、活性化に寄与する活動・イベント企画の検討、開催
- 漁港区そして水産業の復興と復興イベントの検討
- 小名浜の漁業再生、漁港区の新たなあり方についての取り組み
- 小名浜まちなかコンサートの開催

### 歴史と文化づくり委員会



小野 浩

- 「小名浜学事始め」の掲載
- 「小名浜の歴史 勉強会」の開催
- 伝えたい誇れるいわき醸成事業「小名浜みなと学」開講
- 魚市場・漁業者・魚屋と連携した魚食体験機会の提供
- 富ヶ浦公園の草刈り清掃・古道復活
- 歴史と文化を感じるまち探検ツアーの開催

### パートナーシップ委員会



小沼 郁互

- 広報紙「しおさいかわら版」の毎月発行
- ホームページの管理運営
- SNSを活用したタイムリーな情報発信
- 会員の拡大
- アクアマリンパークのPRパンフレットの作成と活用
- 小名浜のアニメ「人力戦艦!? 汐風・澤風」のPR企画のサポート

### 中心市街地活性化法認定特別委員会 リノベーション委員会



鈴木 泰弘

- 株式会社まちもりシオカゼと連携したまちなかのリノベーションの推進
- 汐風竹町通り、本町通りで開催されるイベント事業への支援

※総会資料より一部抜粋



## いわき花火大会会場図

## 有料観覧席 販売情報

いわき市最大の夏の祭典、「いわき花火大会」がいよいよ8月4日に開催されます。

有料観覧席は昨年から大幅に増設され、今年は過去最大の席数をご用意しての開催となります。

観覧席は小名浜美食ホテル1階特設売り場にてお求めいただけます。この機会にゆつくりと花火が観覧できるチケットをご利用ください。

S席 (ペア席) 席番指定	12,000円
A席 (ペア席) 席番指定	8,000円
B席 (1名席) 自由席	3,000円
Cイース席 (1名席) 席番指定	4,000円
Pイース席 (ペア席) 席番指定	8,000円
Gカーテン席 (4名席)	20,000円
D席 (1名席) 自由席	2,000円
F席 (1名席) 自由席	500円

## 小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。



## 会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)  
TEL：52-1275 FAX：52-1415  
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp